

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.17 令和4年11月15日 文責 渡邊

いっぱい自然を満喫した原生林探検！

11月11日(金)に全校児童で「原生林探検」を実施しました。この「原生林探検」は5月に計画されていましたが、5月13日(金)は雨天のため、当初予備日として設定していた17日(火)に延期となりました。しかし、その5月17日(火)も雨天となってしまいました。そこで、今後どうするかを職員で話し合いました。この「原生林探検」は、桑村小学校の伝統行事であり、子供たちが楽しみにしている学校行事なので計画してあげたいという職員の熱い気持ちから、5月27日(金)に新たに実施日を設定しました。この間いろいろな関係機関と調整を図り当日を迎えたのですが、この日も雨となってしまいました。

年間の教育計画が決まっています、もう新たな設定は難しいと思われていました。しかし、5月30日(月)の登校時、6年生児童が登校指導をしている校長に近づき、「校長先生、『原生林探検』は中止でしょうか？ぼくたちはずっと『原生林探検』を楽しみに4月から縦割りグループごとに準備をしてきました。ぼくたち6年生にとって最後の『原生林探検』なのです。校長先生、ぼくたちの気持ちを分かってくれますか。どうかやってもらえませんか」

そうなのです。子供たちは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、いろいろな教育活動が制限されてきていたのです。桑村小学校の特色である異学年交流も制限されてきていました。そうした背景を考えたとき、6年生の寂しい気持ちが痛いほど伝わってきました。

「残念な気持ちは校長先生も一緒だよ。『原生林探検』を新たに計画するかどうかはすぐには決められないんだ。先生方と相談しなければ決められないんだ。だから時間をもらえないかな。6年生の気持ちは先生方全員分かっているよ。決まったらみなさんに報告するね。」

そこで、打ち合わせで『原生林体験』の実施について職員間で協議しました。先生たちの思いも校長と一緒に。「実施する」です。しかし、簡単には実施計画が立てられません。天候や他の行事等を考慮し、時期をいつに設定し、どのような方法で行うのか、そこが大きな問題となりました。

そうして考え抜いた計画をもとにして本日の実施となりました。子供たちは、最高の笑顔を見せてくれました。

今回、地域の方々にもお世話になりました。「紙芝居グループ『ふうせんかづら』」の皆さんには、6年生児童を対象に「かなみ仏の里ものがたりーかんちゃん、なみちゃんの夏休みー」のお話の中で、「函南原生林」について次のようにお話いただきました。

「ここは函南原生林だよ。不伐の森と言って昔から木を切らない掟が作られていたんだ。それはここが下流の函南町や三島市の水源となる森林だから、先祖代々保護されてきたんだよ。森林の土は雨をたくさん吸い込んで蓄えられ、ゆっくり時間をかけて川へ流れ出すんだ。そして、下流の田畑を潤し、飲み水にもなるんだよ。」

「大切な森なんだね。」

「そうなんだ。今でもできるだけ人の手を入れないで、自然を保つように組合で管理しているんだよ。」

今でも、函南町の人たちが「函南原生林」を大切にしていることを意識し探検すると、自然保護の視点から何か新しい発見があるかもしれません。

さて、いよいよ当日の様子を写真を組み込みながら紹介したいと思います。

始めに、グラウンドで出発式を行いました。とても良い天気のもと、6年生のリーダーは各班それぞれのめあてを発表しました。



【出発式前の1年生】



【リーダーの発表】



【出発式の様子】

出発式を終えた子供たちは、バスで「函南原生林」へ向かいました。



【函南原生林の紅葉】



【原生林に到着】



【原生林を歩く子供たち】

下山した子供たちは、クラスごとに集合写真を撮りました。子供たちは、達成感でどの子も表情が輝いていました。



【1年生のクラス写真】



【2年生のクラス写真】



【3年生のクラス写真】



【4年生のクラス写真】



【5年生のクラス写真】



【6年生のクラス写真】

最後に、桑村小学校の「学校林」で、全員で記念撮影をしました。



【学校林でハイポーズ】



【自然を大切にしようね】



【桑村小の仲間たち】